

2018年1月25日



報道関係各位

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ

**「B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2018 次世代型ライブビューイング B.LIVEin TOKYO」
～チケット購入者の属性レポート 20～30代・女性同士のグループ観戦スポットに！～**

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(本社:東京都文京区、理事長:大河正明 以下「B.LEAGUE」)は、2018年1月14日(日)に恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンホールで行なわれました「B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2018 次世代型ライブビューイング B.LIVE in TOKYO」(以下、「B.LIVE」)のチケット(B.LEAGUE チケット)購入者の属性レポートをご報告いたします。同日、熊本で開催された「B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2018」をDJやVJ(ビデオジョッキー)が試合展開に応じ音楽と映像、光の連動による演出を駆使し、スポーツと音楽を融合した新しい観戦スタイルづくりにおいてB.LEAGUEは初めてのチャレンジをいたしました。

革新的な「B.LIVE」において、チケット(B.LEAGUE チケット)購買者のうち60%が女性、とくに20代～30代の女性がメインとなり若い女性を中心としたB.LEAGUE人気が垣間見えた結果となりました。平均購入枚数でも2.05枚と複数名での購入割合が多くを占め、実際に会場では女性同士の来場、グループ観戦と複数名で盛り上がられているお客様を多数見られました。チケット(B.LEAGUE チケット)の属性レポート詳細は以下よりご確認ください。(※1)

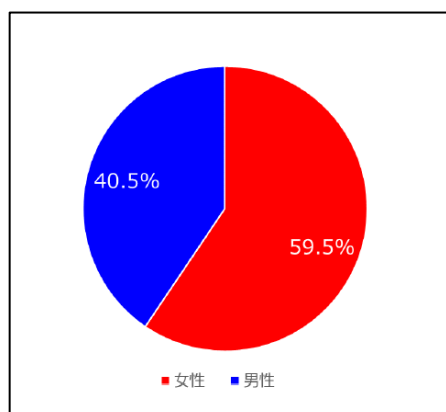
「次世代型」をうたった今回のライブビューイングでは、B.LEAGUEのICTサービスパートナーである富士通株式会社(東京都港区)の最先端テクノロジーを駆使して、試合が行われた熊本県立総合体育館との連動を図りました。試合会場には、観客の声援を拾う為の20本のマイクがコートサイドや天井に、選手たちの足音やドリブルを集音する為のマイク32本が床下に、計52本のマイクが設置され、恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンホールでそれらの音を多方向から流し臨場感を演出。会場の両サイドには選手が近づいてきたり遠ざかっていったりする感覚を振動アクチュエーター(駆動装置)で表現するゾーンも用意され、今までに無いライブビューイング空間となり、会場は入場者519名の熱気に包まれました。これからもスポーツ×テクノロジーで、新たなスポーツエンターテインメントと新たな観戦スタイルを創出するべく、革新的な取り組みにチャレンジしてまいります。



※1: 入場者属性データ

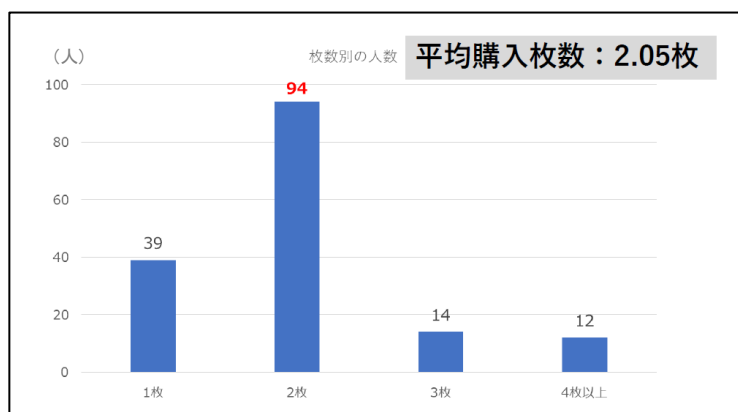
※チケット(B.LEAGUE チケット)の属性データ

購入者：男女比



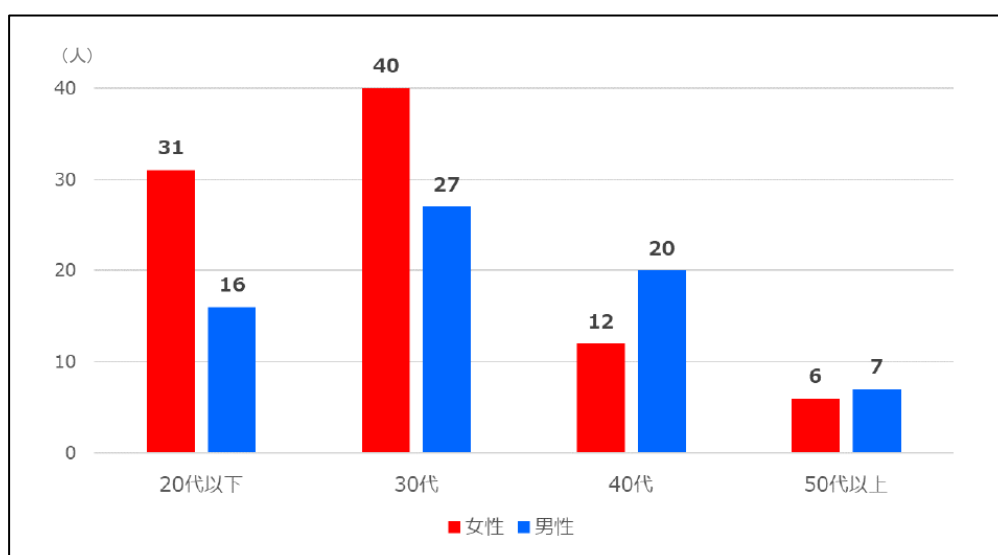
女性が約 60%を占める

購入者：平均購入枚数



エキサイティングゾーンの 73%が 2 枚以上の購入

購入者：男女別年齢層



女性は20～30代が圧倒的に多い。男性は30代中心。